

令和7年度において使用する教科用図書を選定するための資料作成基準

第1 分析調査の観点及び具体的視点

1 内容

【各教科】

- (1) 「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について
- (2) 「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について
- (3) 「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について
- (4) 教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について
- (5) 他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について

【特別の教科 道徳】

- (1) 自己を見つめることができるような配慮や工夫について
- (2) 物事を多面的・多角的に考えることができるような配慮や工夫について
- (3) 自己の生き方について考えを深めることができるような配慮や工夫について
- (4) 問題解決的な学習や体験的な学習など、多様な方法を構想するための配慮や工夫について
- (5) 他の教科等の内容及び現代的な諸課題などとの関連について

2 組織、配列、分量

- (1) 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について
- (2) 季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて
- (3) 内容と分量のバランスについて

3 使用上の配慮や工夫

- (1) 分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について
- (2) 分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について
- (3) 目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について
- (4) 学習者用デジタル教科書について ※中学校英語のみ

第2 分析結果のまとめ方

分析調査した事項を各教科書別、各観点別に列記するとともに、全体的、総合的にその特長を記述する。